

## 【研究主題に基づいた、手だて・発問等】国語編

段階	学習活動	手だて・発問等						
つかむ	<p>【正確に読み取らせるために】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンダーラインを引く。</li> <li>○で囲む。</li> <li>大事なところを書きぬく。</li> <li>図や表に書き込む。</li> </ul>	<p>＊ 主人公の心情、問題提起の部分、まとめの部分を見付けさせる。</p> <p><b>発問</b> (物語文) どこに〇〇の気持ちわかる文/〇〇の様子が分かる文があるでしょう？</p> <p><b>発問</b> (説明文) 質問している文/筆者の考えが書かれている文はどこにありますか？</p> <p>＊ 接続語、重要語句を囲ませる。</p> <p>＊ 箇条書きで(アンダーラインを引いたところから)書きぬかせる。</p> <p>＊ 心情の変化を整理したもの、様子の変化がわかるもの、具体例を整理したものの表を用意し、それに書き込ませていく。</p>						
考える・深める	<p>【主体的に学び、思考力や想像力を高め合うために】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的をもって読む。(アンダーライン、○での囲みをしながら)</li> <li>自分の思いや考えを書く。</li> <li>目的をもって話し合う。 ×発表会 (グループ、全体、討論、ポスターセッション等)</li> </ul>	<p>【方法】</p> <p>ア：課題について個人で(自由音読・黙読で)</p> <p>イ：全体またはグループで重要箇所を(自由音読、黙読で)</p> <p>エ：劇化・動作化で(役割読み、一斉音読、丸読み、暗唱で)</p> <div data-bbox="1260 949 2028 1299" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【書かせるときのポイント】</p> <table border="0"> <tr> <td>書く前</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>書く場面設定を十分に作る。</li> <li>ねらいを明確にする。</li> <li>書けない児童への配慮をする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>書いている時</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>かけていない児童への指導、書く姿勢の指導</li> <li>書いている内容の把握と発表の準備の指導</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>書いた後</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表の場面の工夫、聞き方の指導</li> <li>適切な評価</li> </ul> </td> </tr> </table> </div> <p>【方法】</p> <p>ア：アンダーラインを引いた横に</p> <p>イ：付箋などに</p> <p>ウ：書きぬいた文章のそばに</p> <p>エ：下書き用紙に</p> <p>【方法】</p> <p>ア：出し合う交流 (アンダーラインを引いたところや自分の考えを)</p> <p>イ：比べ合う交流 (考えを比較したり参考にしたりする)</p> <p>ウ：高め合う交流 (根拠を明確にして意見を述べ合う。時には批評も。)</p> <p>エ：磨き合う交流 (学んだ知識や技能を使って行う。)</p> <div data-bbox="861 1507 2011 1691" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【話し合うときのポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①みんなが参加できるように話し合うことを明確にする。</li> <li>②話し合うことにより、ぼんやりしていたことがはっきりするようにつないでいく。</li> <li>③話し合いのルール(聞く姿勢、話す声の大きさ)が定着するように指導する。</li> </ol> </div> <div data-bbox="861 1721 1936 2320" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【深い学びにつながる発問】</p> <p>1 別の言葉に言い換えると？</p> <p><b>発問</b> 「鉄砲みたいに」ってどんな様子ですか？(教科書に書かれている文・言葉から)</p> <p><b>発問</b> 〇〇さんは「～。」と言っていたけれど、それってどういうことですか？</p> <p><b>発問</b> 「～」と書かれていたけれど、たとえ(比喩)で言ったら何と言いますか？</p> <p>2 比べてみよう！</p> <p><b>発問</b> 「肩をおとした。」と「がっかりした。」はどう違いますか？</p> <p><b>発問</b> 「～」は文章のどこかとつながっていますか？</p> <p><b>発問</b> 前にも同じことはありましたか？</p> <p>3 なぜそう考えましたか？(根拠・理由)</p> <p><b>発問</b> なぜ/どうして「～」と考えましたか？</p> <p><b>発問</b> 「～」と考えたもとになったところ(根拠・理由)はどこでしょう？</p> </div>	書く前	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く場面設定を十分に作る。</li> <li>ねらいを明確にする。</li> <li>書けない児童への配慮をする。</li> </ul>	書いている時	<ul style="list-style-type: none"> <li>かけていない児童への指導、書く姿勢の指導</li> <li>書いている内容の把握と発表の準備の指導</li> </ul>	書いた後	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の場面の工夫、聞き方の指導</li> <li>適切な評価</li> </ul>
書く前	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く場面設定を十分に作る。</li> <li>ねらいを明確にする。</li> <li>書けない児童への配慮をする。</li> </ul>							
書いている時	<ul style="list-style-type: none"> <li>かけていない児童への指導、書く姿勢の指導</li> <li>書いている内容の把握と発表の準備の指導</li> </ul>							
書いた後	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の場面の工夫、聞き方の指導</li> <li>適切な評価</li> </ul>							
振り返る	<p>【振り返りを通して、今後に生かすために】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノート、ワークシート、振り返りシートに書く。</li> <li>考えを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書かせたものはきちんと見て評価する。次時に生かす。</li> <li>書いたもの、発表したことから理解度を分析し、足りないところを補足する。</li> </ul> <div data-bbox="861 2546 2011 2813" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【深まったと判断する基準の例】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①作品の情景が豊かに思い描けるようになる。</li> <li>②自分から大事な言葉に気付き、それらに関連づけて考えている。</li> <li>③読み取ったことを自分の言葉で文章化できる。</li> <li>④友達の考えを聞いて、新たな気付きをしている。</li> <li>⑤新たな疑問、課題を見つけたり、分かったりしたことを次時やテスト等にいかしている。</li> </ol> </div>						